

アクタレイア

Actaleia

働く女性のワーキングスタイル発見マガジン

特集

”好きを”
仕事に!
“を”

Vol. 8
2009

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

<http://www.actaleia.com/>

特集

”好きを” 仕事に！

うたが好き、
音楽が好き、
好きを仕事に。

庄子眞理子さん
M A R I K O S H O J I

好きなことを仕事にしたい、やりたいことを存分にやりたい、と思いませんか？ でも、そんなことできるかしら？ 本当にやっていけるのかしら？ と、自信がなくなることもありますよね。しかし、今回お話しを伺った庄子眞理子さんは、全く迷いなく自分の道を信じて進んできた人でした。音楽の道に進みたい！ その思いを貫いて進んできた機動力はどこにあるのでしょうか。

高校入学時には 将来を決めていた

庄子眞理子さんといえば、透き通るような声の持ち主。身近なところでは、ラジオなどから流れる飲酒運転撲滅のイメージソング「みんなの誓い」で、その美しい声を聴くことができます。その庄子さんが、音楽の道に進もうと決めた時期はなんと高校入学時なのか。
「幼い頃からピアノと合唱を続けてきたのですが、中学で運動部に所属したので、一

時音楽から離れてしまいました。すると”やっぱり音楽をやりたい”という気持ちが大きくなって。母の勧めもあり、高校に入学したときにはもう”音楽の道に進む！”と将来を決めていました。」

「高校卒業後の志望進路は、宮城学院女子大学の音楽科、ここ一本でした。スベリ止めを受験するなんて全く考えていませんでした。”この大学にいけます”って。今考えると怖いもの知らずですよね。」そして予告通りに合格、進学したのでした。

うたが好き、音楽が好き。 好きを仕事に！

大学卒業前の就活時期、どこの会社に勤めようか、どんな仕事に就こうかと悩むのでしようけれど、庄子さんは悩みませんでした。「音楽という好きなことを仕事に！」と。

在学中から音楽を教えたり、CMソングを歌ったりと、音楽に関する仕事を少しずつ始めていた庄子さん。音楽の道を突き進む準備を、すでに始めていました。現在はソロ活動、CMソング、さとう宗幸さんのバックコーラスなどの「歌う」こと

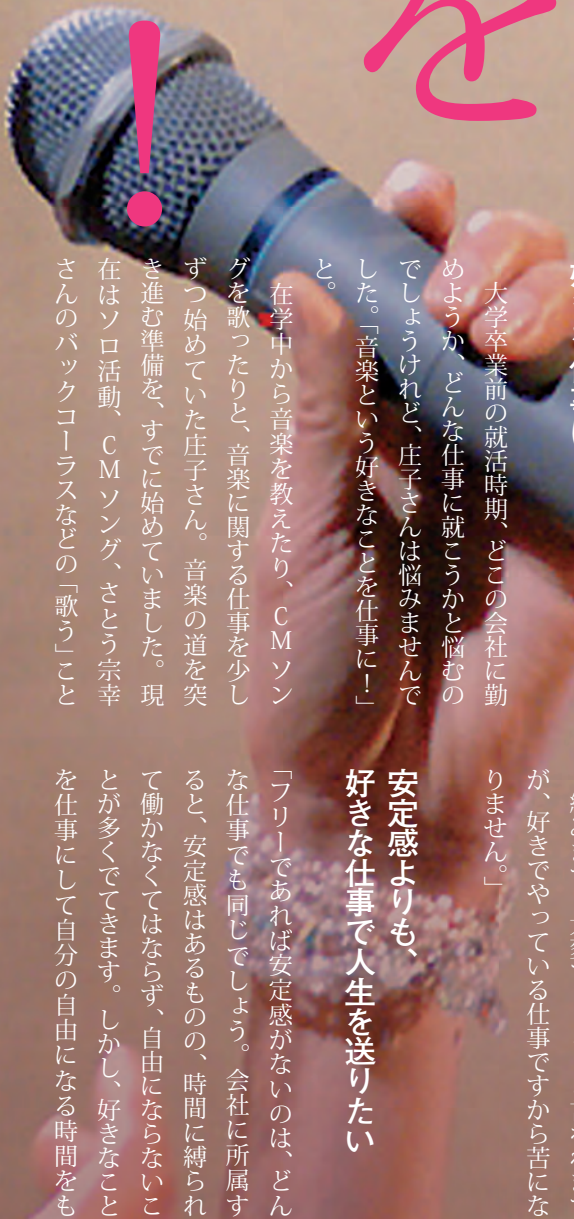
のほか、「音楽を教える」仕事もしています。「歌うことと教えることは仕事の種類としては違うけれど、教える仕事をするからこそ、歌うことの視野が広がる人が多いです」と庄子さん。「何よりも、教えている内容が音楽ですからね。」とニコリ。

”好き”を仕事にする 大変さとは

しかし「歌うことだけで生活することは、難しいです。」と庄子さんは厳しい表情できっぱり。歌うことが好き、でも生きていくために必要なお金を”歌だけ”で稼ぐとなると、難しいと。「フリーで仕事をしていると、OLさんのように毎月きまつたお給料をいただけるわけではないので、生活に安定感がありません。仕事が多い月、少ない月とばらつきもあります。」「ですから、音楽に関連する仕事は何にでも取り組めます。大変でしょう、と言われますが、好きでやっている仕事ですから苦になりません。」

安定感よりも、 好きな仕事で人生を送りたい

「フリーであれば安定感がないのは、どんな仕事でも同じでしょう。会社に所属すると、安定感はあるものの、時間に縛られて働かなくてはならず、自由にならないことが多くできます。しかし、好きなことを仕事にして自分の自由になる時間をも





庄子 眞理子（しょうじ まりこ）

幼少からピアノを習う。また身体が弱かったため少しでも丈夫になればと仙台少年少女合唱隊にも通う。これらがきっかけとなり、宮城学院女子大学にて声楽を学ぶ。現在、さとう音楽事務所所属のアーティストとして、またフリーでも活躍中。音楽を教える講師としての業務にも携わる。

今の仕事は、 未来の音楽につながる

つという選択もあります。安定感がほしいければ好きなことを我慢し、好きなことを仕事にしたければ不安定でもがんばるしがあります。私は、安定感よりも「好きな仕事」をして人生を送りたいのです。」この覚悟が、庄子さんの強さでしょうね。

教職免許をもち音楽を教える仕事にも携わる庄子さん、今の子供達に不足しがちな「失敗の経験」こそ大切と考えているそうです。ピアノや歌の練習のときに「間違ってはいけない」「正しく弾こう」と萎縮する子供達に「最初なんだから間違ってもいいんだよ。」と指導するのだとか。「そして、よく声がでたね、じゃあ次はもう少し音を合わせてみようね」と徐々に進んでいければいいのです。だから、「間違ってもいいんだよ、次になおそ」と声をかけます。」音楽が好き！ という子供達が大きくなったときに、きつと庄子眞理子先生の存在があるはずです。庄子さんは、好きな音楽という仕事で「今」と「未来」をつなげようとしているのですね。

「コンサートは楽しいです、スタッフ全員が一丸となつてつくりあげるといふ楽しさがあります。」とにこやかに語る庄子さん。一度、その透き通る美しい声を体感してみてください。